

令和5年度学校評価に係る学校関係者評価結果について

日立メディカルセンター看護専門学校

1 目的

教員による本校の学校運営を評価した自己評価について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高める。

2 評価基準

学校を評価するための9つの大項目（学校運営、管理運営・財政、教育課程・教育活動、入学・卒業対策、学生生活への支援、施設設備、教員の育成、広報、地域との連携）について、5（よい）、4（ややよい）、3（ふつう）、2（やや不十分）、1（不十分）、の5段階で評価を実施した。

3 評価者

学校関係者評価委員 15人

4 評価時期

令和6年4月

5 評価方法

教員による自己評価を「学校評価委員会」を開催して整理した結果について、運営委員会としての意見等を踏まえ関係者評価とした。

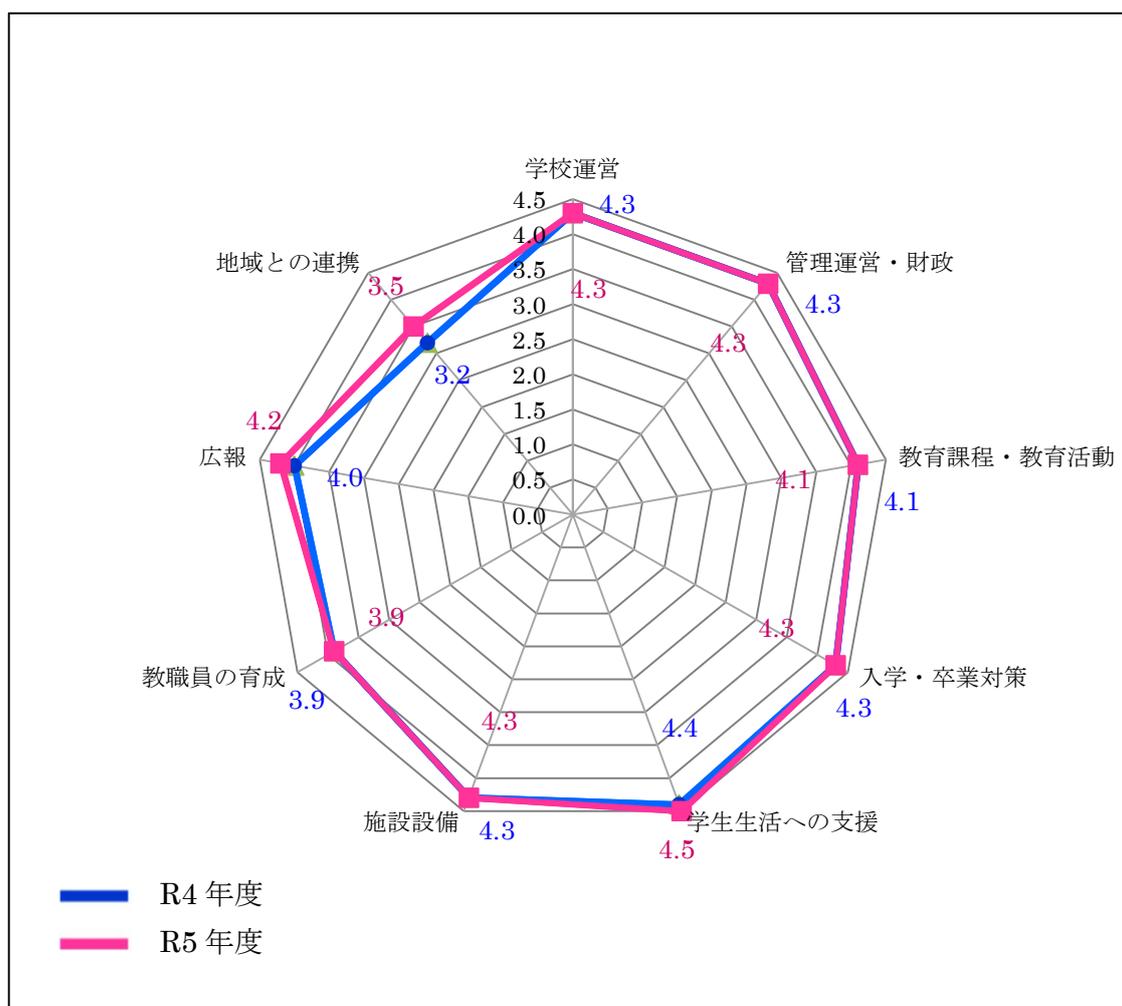
6 結果

- (1) 9つの大項目（図1参照）の評価点について、「学校運営」、「管理運営・財政」、「教育課程・教育活動」、「入学・卒業対策」、「学生生活への支援」、「施設設備」、「広報」が4.0以上となっており概ね良好である。
- (2) 一方、「教職員の育成」、「地域との連携」については、「ふつう」との評価3.0を上回っているものの、さらに評価を高める取組が必要である。
- (3) 「教職員の育成」については、研究・研修活動などに十分参加できていないことが引き続き課題であるが、「地域との連携」については、新型コロナウイルス感染症が終息に向かう中で少しずつ取り組めており、今後のさらなる取組が期待される。
- (4) 学校関係者評価を今後の学校運営に活かせるよう、評価の高いところは、さらなる評価向上に努め、評価の低いところは改善していくことに取り組むこととし、その実現に向けては、具体的な取組を掲げ、教職員間での情報の共有化を図りながら共通理解のもとで取り組んでいくこととする。

表 1 学校関係者評価の点数評価表（大項目集計結果）

項目		R4年度	R5年度
1	学校運営	4.3	4.3
2	管理運営・財政	4.3	4.3
3	教育課程・教育活動	4.1	4.1
4	入学・卒業対策	4.3	4.3
5	学生生活への支援	4.4	4.5
6	施設設備	4.3	4.3
7	教職員の育成	3.9	3.9
8	広報	4.0	4.2
9	地域との連携	3.2	3.5

図 1 学校関係者評価の点数評価グラフ



＜参考＞ 大項目に対する評価

1 学校運営 (4.3)

学校運営の考え方などについて次のように評価した。

- 地域医療に重要な看護師の確保に向け、看護師育成に取り組んでいる。
- 3年課程を設置してから4年が過ぎ、少子化等の影響から学生数が減少傾向にあることに課題があるが、概ね良好な運営に取り組んでいる。
- 教育方針や教育計画など運営委員会での議論が学校運営に活かされている。
- 定期的に運営委員会が開催され、少子化等の将来を見据えた学校運営のあり方が協議されている。

2 管理運営・財政 (4.3)

組織の整備、教職員の職務、学籍管理、危機管理、事業計画と予算、学校評価などについて、次のように評価した。

- 学校運営に係る財政基盤の安定化を図るため、引き続きの学生確保の取組が必要である。
- 少子化等を背景に入学者が減少傾向にあるが、現状では学校運営に支障を及ぼす状況にはない。今後更に入学者が減少することには懸念がある。

3 教育課程・教育活動 (4.1)

(1) 教育理念・目標、教育課程編成などについて、次のように評価した。

- 教育課程編成などは看護師養成という視点から概ねうまくできている。

(2) 授業、実習、単位管理、学級経営などについて、次のように評価した。

- 単位取得の可否について、教員が正しく評価し講師会において正しく協議されている。
- 学力差、年齢差、様々な家庭状況の学生がいることを受け、教員の更なる教育指導の向上が求められる。

4 入学・卒業対策 (4.3)

入学選抜、進路などについて、次のように評価した。

- 3年生の後期は、国家試験対策をしながら単位を取れるようなシステムを作れると良い。
- 国家試験において高い合格率を達成すべく更なる取組が必要である。
- 少子化の中で入学者の確保に難しさが見えつつある。卒業に向けては、教員全体で国家試験合格に向け取り組んでいる。
- 退学者がいることを受け、退学理由や退学者の傾向などをフィードバックし対策を講じることが必要である。
- 卒業後は市内の医療機関等に就業するような取組が求められる。
- 入試面接時に、オープンキャンパス時の先生方の対応が良かったとの意見が多く聞かれている。

5 学生生活への支援 (4.5)

学修継続、社会活動などについて、次のように評価した。

- 新型コロナウイルス感染症の終息傾向を受け、円滑に臨地実習等ができているが、引き続き、感染症対策を行い気遣いながらの学生指導に苦勞が感じられた。
- ソフトバレーボール大会の開催や国家試験に向けた激励会の企画など授業だけでなく仲間づくりの場や時間を提供できている。
- 学生の健康管理や福利厚生についての支援が適切になされている。

6 施設整備 (4.3)

教育・学習環境、実習施設などについて、次のように評価した。

- 入試面接時などに、新校舎で明るい雰囲気であり実習施設が整っているとの意見が多く聞かれる。
- 校舎の設備や学習の環境が良好に整備されている。

7 教職員の育成 (3.9)

研究・研修活動などについて、次のように評価した。

- 教職員の資質向上につながる研修会・講習会等への積極的な参加が望ましい。
- 研究活動等、教職員の育成の機会は概ね十分に確保されている。経験に応じた研修等の機会を継続して確保していくことが大切である。
- 教職員の熱心さが感じられるが、きめ細やかな指導には教員の不足感があり多忙であると感じる。

8 広報 (4.2)

広報活動などについて、次のように評価した。

- 新聞・行政広報紙・コミュニティFMなどのメディア活用、新たな学校紹介DVDの作成、駅などへの広告板設置等により、学校紹介及び学生募集に積極的に取り組んでいる。
- さらに、学校説明会の回数を増やすとともに高校訪問の実施回数及び対象範囲を広げるなどでも学生募集に取り組んでいる。

9 地域との連携 (3.5)

地域との連携などについて、次のように評価した。

- 新型コロナウイルス感染症の終息傾向を受け、少しずつ地域連携につながる活動を行いつつあるが、看護の日などにイベントを行うなどでさらに近隣住民との連携につながる機会を設けることが必要である。

10 その他の意見

- 市内の同世代の専門学生、大学生、社会人との交流など、看護師になってからも多様な人々とつながりを持てる関係性を築くことを期待する。

以上